



2023年2月1日  
株式会社 阿波銀行

ホープフルマリン有限会社の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、ホープフルマリン有限会社（代表取締役 竹原 勝司、本社：岡山県備前市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	ホープフルマリン有限会社
所在地	岡山県備前市日生町寒河 1439 番地
代表者	竹原 勝司
業種	海上貨物運輸業
設立	1979年8月1日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2023年2月1日



## ホープフルマリン株式会社 代表取締役 竹原 勝司

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ・節電を推進します。	①再生可能エネルギーの導入・利用推進	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	13 気候変動に具体的な対策を
			②2025年までに太陽光発電設備導入	12 つくる責任 つかう責任	
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。	①環境に配慮した船舶への入替によるCO2排出量削減	9 産業と技術革新の進歩をつくろう	13 気候変動に具体的な対策を
			②2023年CO2排出量10%削減	12 つくる責任 つかう責任	
社会	従業員のウェルビーイングの向上	心身共に健康で、働き甲斐をもって働けるよう、社員の健康の維持に努めるとともに、持続可能な働き方の実現をサポートします。	①健康診断の年度平均受診率の向上	3 すべての人に健康と福祉を	
			②社員受診率100%	8 働きがいも経済成長も	
社会・経済	教育への貢献	自社のリソースを最大限活用し、地域の教育に貢献する活動を行います。	①職業体験や出張授業の企画・実施	4 質の高い教育をみんなに	
			②年1回就業体験授業開催	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。